

I-17. 海外研究費配分機関の公募・選考方法等調査

Study on Selection Method of Research Project of Funding Agencies

キーワード Key Word	研究資金配分、研究開発評価、海外科学技術政策
	Research Funding system, R&D Evaluation, Overseas S&T Policy

1. 調査の目的

本調査は、医療・ヘルスケア分野の公的資金配分機関における公募・選考方法の国際化の検討に向けて、国際的な研究費配分機関における研究助成事業、制度等を対象に、審査の手段・手法、評価委員の選定・依頼方法、メリット・デメリット等の実務に有用な具体的な手段・手法等の情報収集を行い、これらの情報の比較分析等から、公募要領等の提案に向けた検討を行った。

研究費配分機関の公募・選考方法の国際化にあたっては、従前の日本語の公募要領や先行基準等の単純な翻訳では十分でなく、海外の研究者を呼び込むための取組みや、採択評価等における外国人有識者の協力体制等、審査や評価段階での事業・制度等の工夫等を見ていく必要がある。調査の実施にあたっては、海外の研究費配分機関を対象に、研究助成事業・制度に係る情報収集も行いつつ、研究開発評価、中でも事前評価の手続きに関わる情報収集に軸足を置いて行い、公募要領の国際化に資する分析を行った。

本調査では、海外の研究費配分機関が行う研究開発評価システムの理解を深めるため、国等における研究費配分機関の位置づけも併せて調査し、海外研究費配分機関の情報収集結果を比較分析する際の前提等となる環境条件を把握した。

2. 調査研究成果概要

(1) 調査の構造

本調査では、①基本情報調査、②海外実地調査からなる。基本情報調査では、米国の国立衛生研究所(National Institutes of Health:以下、NIH)、欧州委員会の欧州研究会議(European Research Council:以下、ERC)、カナダのカナダ健康研究所(Canadian Institutes of Health Research:以下、CIHR)、英国の国立健康研究所(National Institute for Health Research:以下、NIHR)の4機関を対象に、公開情報(一次情報源ベース)に基づき、研究助成事業・制度および、公募・選考に係る方法、実施体制、評価方法等の情報収集を行い、これらの基本情報を踏まえ、実地調査の対象とする3機関の選定を行った。

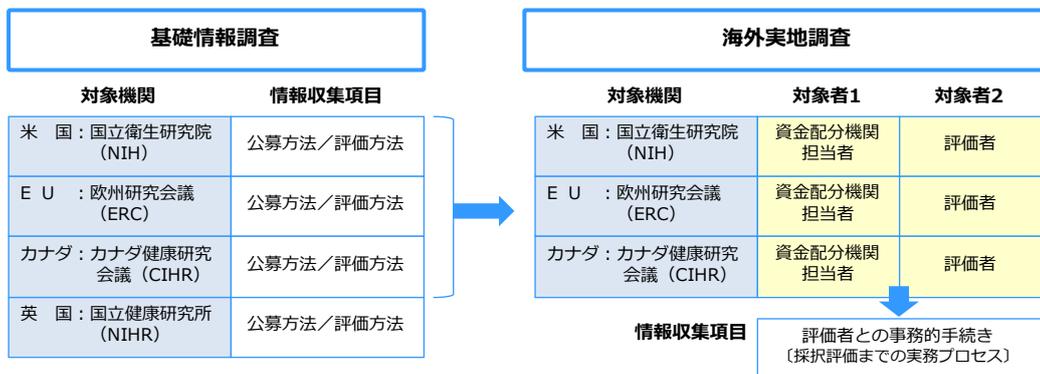


図1 本調査の概要

選定にあたっては、ライフサイエンス、ヘルスケア分野のボトムアップ型の研究プロジェクト助成の実施機関、研究資金配分・管理運営に係るアウトソーシング、評価人材のプール(評価人材の確保)等の工夫のある機関の観点から選定を行い、米国の NIH、欧州委員会の ERC、カナダの CIHR の 3 機関・制度を対象とした。

(2) 調査の内容および主な成果

① 基本情報調査

本調査で海外実地調査の対象機関は、下表のとおりである。NIH の R01 は、NIH が行う研究助成制度として最初に設立され、NIH 傘下の研究所の研究員以外にも広く応募可能な競争的資金であり、先端研究に関する資金配分を行っている特徴から調査対象とした。また、ERC の Advanced Grants は、第 7 次枠組みプログラム(FP7)で実施されたボトムアップ型ファンドであり、研究者のアイデアを重視した制度で、我が国の先端研究開発制度に類似の制度であること、また研究費配分に係る運営は、ERCEA にアウトソーシングしており、研究費の管理・運営機能のアウトソーシングに係る状況と当該機関における採択評価の関わり等の把握を行った。CIHR の Investigator-driven research(プロジェクト助成金)は、研究者主導し好奇心駆動型でオープンな競争的資金である。また、研究費配分対象分野は、こちらも革新的先端研究開発支援事業に類似の制度であるほか、米国との人材獲得競争の中、自然科学研究評議会(NSERC)等の研究費配分機関との連携等を図っている。

表 1 資金配分機関の概要

	米国・NIH: Research Project Grant Program (R01)	欧州・ERC:Advanced Grant	カナダ・カナダ健康研究所: プロジェクト助成金
①制度概要			
ア)目的	R01 は、NIH が行う研究助成金の仕組みとして最初に設立されたものである。R01 は、NIH のミッションに基づく健康関連の研究開発の支援を行う。	第 7 次枠組みプログラムのうち、“Ideas”に基づき展開された事業で、ボトムアップで研究者の興味に基づくフロンティア研究を対象とする。	健康関連の基礎・応用研究を行うための資金制度である。健康関連研究の知識のトランスレーションプロジェクト等、多様な研究を支援する。
イ)研究期間	助成期間は一般的に1~5年で、新規課題と同様、採択審査を経た後で更新が可能である。	最高 5 年間	助成期間の規定は設けていない。他方、助成財団グラントプログラムは、研究キャリアにより、5 年、7 年と規定。
②公募			
ア)提案様式	申請書類は、必須書類と任意書類が規定され、SF424、研究関連プロジェクト・パフォーマンスサイト、プロジェクト情報、研究計画等。	概要(5 頁)、履歴書(2 頁)、業績(2 頁)、科学に関する提案(15 頁)、ホスト機関の支援の声明、倫理レビュー表等で構成される。	カナダ共通 CV (CCV)、提案情報(2000 文字程度)、研究提案、サマリー、予算情報、ピアレビュー管理情報(推奨レビューワの提言:5 名)、その他
イ)提案方法(電子申請)	申請は、Grants.gov.もしくは NIH がスポンサーとなって運営している eRA Commons のウェブサイトを通じて電子的に行う。	Participant Portal (電子システム)で行われる。提案書作成をオンラインウィザードから、管理フォームと技術的付属書を作成。	Project Grant ResearchNet への登録により行われる。
ウ)評価手続	採択審査は基本的に2段階方式(第2段階では患者団体等のメンバーを加えたミッションパネル方式)	採択審査は2段階方式(第2段階ではパネルメンバーに加え、遠隔審判によりレビュー)	採択審査は2段階方式(第2段階では対面式のディスカッションを実施)

②海外実地調査

海外実地調査では、上記対象機関・制度の担当者へのヒアリング調査を実施するとともに、研究費配分機関と評価者との間の採択評価等に係るコミュニケーションの実態を把握するため、対象制度の評価者を対象としたヒアリング調査を実施した。主な調査項目は、下記の通りである。

【調査項目】

- 採択評価時のピアレビューに係る実務プロセス
- 評価の実施方法(評価者のプール方法、評価委員の規模、研究申請課題の選定方法)